

学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学名電高等学校同窓会



# 同窓会だより

発行所

愛知工業大学名電高等学校同窓会

〒464-8540 名古屋市千種区若水3-2-12

TEL (052) 721-0311 (代表)

## 祝！学園創立百周年

名古屋電気学園は工業化社会を予測した後藤喬三郎先生によって大正元年、名古屋市に始まった一滴のしずくが紆余曲折を経ながら後藤鉀二先生、そして現理事長の後藤淳先生に受け継がれ、今や轟音をあげて大地を流れ下る百年の大河として花咲きました。百周年を飾る記念イベント、祝賀行事が間もなくスタートします。後藤淳理事長に百年を迎え、同窓生の皆様に寄せる思い、百年の意義等をお聞きしました。



インタビューで同窓会への思い等を語る後藤淳理事長

### 学園の力の源は、社会で元気に活躍の同窓会会員

―学園百年を迎え、同窓会の皆さまにお話したいことは。

**後藤淳理事長（以下理事長とします）**―高校の同窓会が最近、非常に活発に活動していることを聴き、うれしく思います。大正元年に名古屋電気学校ができてから百年目を迎えます。学園の百年の歴史の中には、

ここで勉強したすべての人が入っています。

卒業生の皆さんが社会で元気で活躍していることが学園の今の力に繋がっていると 생각합니다。今後の皆さんのいっそうのご活躍を祈っています。

―理事長として歴史的な百年に立ち会われるお気持ち。

**理事長** 私は昭和三十二年に学園に入ったので、半世紀以上、学園と共に歩いてきたことになり感慨入です。戦後の混乱期から日本の復興とあわせ学園も中学、高校ができ間もなく短期大学も開学と発展の時期に巡り合ったことは幸せと思います。そして様々な人たちの応援を得て、ここまですべてができています。

### 温故知新

―百周年記念事業の中の大きな事業にメモリアルギヤラリーを備えた記念館建設があります。

**理事長** 百年のうち日本は大正ロマン等の時代もありましたが、昭和に入り外国との軋轢により戦争、敗戦という大変な時代を経験しました。学園は創立者、先代が一生懸命に学校教育や運営に努め、戦後の学制改革も味方しましたが、学園を大きくし時流に乗れました。

今の人はそういう苦しい時代、名古屋電気学園の変遷を知りません。それではいけないと（学園の）百年を振り返り、資料を整え、その時、その時の人をどうやってきたかを残し、教えとして守っていかなくてはならないの思いで、資料

館をまず第一に、と考えてつくることにしました。

―次の同窓会会員となる在校生に一言。

**理事長** 今の若い人は恵まれた環境にあり、その分余裕があると思うので、しっかりと勉強してほしい。日本の将来は皆さんの双肩にかかっていると一言でも過言ではありません。

―最後に同窓会の皆様にも一言。

**理事長** 皆さんの活躍が学校の評価に繋がると先にも話しましたが、今後、いっそう社会で頑張っていたきたい。

### 学園創立百周年記念事業へ寄付

同窓会は学園に一千万円を寄付しました。学園は百年の創立百周年を記念し記念館（仮称）建設を含む各記念事業を行うこととし、その一部に充てるため広く寄付を募っています。

会報の題字は、後藤淳理事長に書いていただきました。

# 同窓会の頁

## 紙上座談会－後藤鉦二先生のジョークに大爆笑

今回は第3号に続き、懐かしい先生から寄せられた原稿を元に紙上座談会をお届けします。登場していただいた**滝沢秀夫先生**（昭和45年7月-平成19年3月）、**友松公德先生**（昭和29年3月-平成9年3月）、**井上益司先生**（昭和33年4月-平成9年3月）の3人に後藤鉦二先生、後藤淳先生や思い出などを語っていただきました。

※（）の年号は就任、退職時期、非常勤講師期間を含みます。

このページは同窓会会員の近況、活動を中心にお伝えしていきます。投稿など大歓迎。お待ちしております。

— どういうきっかけで本校の先生に

**友松先生（担当・英語）**  
戦時（昭和十九、二十年）の勤労働員で軍需工場に自分の青春がつぶれたため。



**滝沢先生（担当・電気、電子）**  
学生のころから教師



**井上先生（担当・化学）**  
後藤淳先生の亡き奥様と私の妻が同じ学校の同級生であつたので、後藤家から結婚の話があり、それがまとまったのを機に（学校へ）入りました。

— 後藤鉦二先生、後藤淳先生の印象は。



後藤鉦二先生

**友松先生** 後藤鉦二先生は、剣道家の心で人に接し弱者の味方、人情家でしたね。後藤淳先生は静かなう

ちに統率力を秘めた人で、海兵魂で学園の発展に尽くされた。

**滝沢先生** 後藤鉦二先生は威風堂々として立派な人でした。特に当時、国交のなかつた中国に単身赴き、世界卓球大会へ（中国選手団）の参加実現を果たしたことは素晴らしい。後藤淳先生は私の恩師で、物静かな優しいお人柄で、親しみを感じました。そして私の生涯の決定に影響を与えた人でもあります。



高校校長時代の後藤淳先生

**井上先生** 後藤淳先生は校長先生というより実業家という感じを受けました。温和で元気でしたね。

**生徒が多かつたね**

— 初めて見た見た高校の印象は。

**友松先生** 小さいけど、よくまとまった学校で心が通っているという印象を受けたかな。

**滝沢先生** 生徒の数が多かったけど、非常に整然としていたのに驚ろいた。

**井上先生** 現普通科校舎の東三分の一ぐらいが鉄筋四階建てで建設中からこれから発展するなと感じた。

— 生徒はどうでしたか。  
**友松先生** 実直で素直。よく努力した若者たちで感心したね。

**滝沢先生** 入学後の三年間は、とにかく退学や進級できない生徒の無いように指導を心がけましたね。

その結果長い教員生活で一人も該当者を出さなかつたことが、私の密かな誇りです。

**井上先生** 愛工大ができたころ、大学の先生も一部高校の授業を受け持っていた。その中で化学を受け持った先生から「授業がやりにくい」とこぼされ、私の担当の優秀クラスと代わってあげたこともありましたね。

— 一番の思い出は。  
**友松先生** 昭和三十四年の伊勢湾台風。その時、学園が被災地や名古屋城内の整地に全校一丸となつて連日、救援活動に出かけたこ

とは忘れられない。

### 鉦二先生のジョーク



第31回世界卓球大会のポスター

**滝沢先生** 1971年の世界卓球選手権大会。愛知県体育館での開催期間中、私は大会事務局長のヴィントさんのお手伝いをしたんです。初日の朝、ホテルの玄関で後藤鉦二先生がヴィントさんに紹介してくれたんですが、「帰るまでに滝沢に数学を教わり、理解してから帰国してください」のジョークに記者ら周りにいた人は大爆笑でした。鉦二先生のユーモアに富んだお人柄が今でも忘れられない。

**井上先生** 化学の授業で一人の生徒がサボって寮で寝ていると知らされたんです。教室へ連れ帰りました（教師生活で唯一）手を出したんです。その生徒が愛工大に進学し大学祭で偶然出会いましたら、向こう

から挨拶をしてくれ、本当にうれしかった。



創立当初の名古屋電気学校・東新町校舎図（大正5年）

—学園百周年に何かお言葉を

**友松先生** 百周年おめでとうございます。学園の更なる繁栄を願っています。

**滝沢先生** 私は学生の時に五十周年のお手伝いをした体験があり、また、本年百周年という節目を迎えられ、感慨一入です。心からお祝い申し上げます。

**井上先生** 他の学校を見ても百年を迎えると、安定しているように見受けられます。今後ますますの発展と内容の充実を願っています。

**短所こそ宝**

—最後になりましたが、現役の先生、生徒に何か一

言を。

**友松先生** 自分の短所こそ宝が埋まっています。よく研究して自分に自信を持って長所を伸ばせ。

**滝沢先生** 多様化する社会情勢の中で、本校の校風を守り、一日一日を大切な学びの場にしていただきたいと思います。

**井上先生** 普通科の国立大学の合格者が四十人に近づいていると聞き、うれしい。頑張れ。

**平成二十三年度の同窓会役員会開催**

十一月二十五日、名古屋市中区の本曾路錦店で開かれ、役員ら三十九人が出席しました。加藤訓会長が神宮大会準優勝の野球部、ロボカップ世界大会出場の情報デザイン部、金賞のダブル受賞に輝く吹奏楽部や、OBの中日・山崎武司選手らを例に、在校生、OBの活躍が目覚ましいと挨拶。来賓の佐藤忍校長も、生徒が



平成23年度同窓会役員会で挨拶する加藤訓会長

百周年に向けて体育、文化系各クラブとも頑張っていると述べました。葛谷捷臣副会長から「同窓会だより第3号」の発行について説明がありました。

また、学園の林憲二参与から百周年記念行事、記念募金の概要等の話がありました。今回も中日ドラゴンズで活躍中の堂上剛裕、直倫兄弟が駆けつけ、奥村衛野球部OB会長の紹介で来シーズンの抱負を力強く語り



来シーズンの抱負を力強く語る堂上剛裕選手（右）と弟の直倫選手

りました。

**同窓会役員が建設中の記念館（仮称）を見学**

平成二十三年同窓会役員研修会が二月二十五日、高校内で開かれました。加藤訓会長、葛谷捷臣副会長、百周年実行委員会委員長らから本年、百周年を迎える学園の百周年記念事業への協力、十年ぶりに作成する同窓会の会員名簿についての説明などがありました。

研修会の後、役員は三宅覚学園管財課課長（同窓会会計）の案内で南校舎敷地



建設会社から記念館の概要を聴く役員ら

内で建設中の学園百周年記念館（仮称）を見学。ヘルメット姿で、室内工事の行われている一階のメモリアルギャラリーの現場で建設会社の担当者から、作業状況、各階の施設等の説明を受けました。

**平成二十三年度クラスス幹事に同窓会賞贈る**



同窓会は三月一日の愛工大名電高校卒業式で、平成二十三年度クラスス幹事を務める卒業生全員に

同窓会賞を贈りました。クラス幹事は各クラス二人で、卒業後、同窓会と会員を繋ぐ大事なパイプの役目を果たします。今回は普通科、専門学科合わせ十七クラス、三十四人です。贈呈に先立ち二月九日、高校でクラス幹事を務める生徒と懇談会を開きました。写真。同窓会から加藤訓会長

ら役員が出席し、クラス幹事の重要性、役割等を説明しました。

クラス幹事への同窓会賞贈呈は、昨年度からクラス幹事を務める卒業生への今後の協力、感謝等をこめて始めました。平成二十三年度同窓会賞を贈られたクラス幹事は次の皆さんです。



卒業式で加藤訓会長から同窓会賞を贈られるクラス幹事の卒業生

○内は卒業時のクラス。

- 【普通科】濱田かなみ、水野晃裕(A) 木戸口堯俊、溝口貴子(B) 伊藤友馬、谷田悠理子(C) 泉拓志、横家伸(D) 岩山直生、大野幸司(E) 安倍輝、福留拓(F) 田中芳治、渡邊恵美(G) 石川孝一、小野弘貴(H) 加納由規、松村隆範(I) 永井寛也、日下大貴(J) 杉江駿介、寺澤弘司(K) 安藤裕史、篠谷大幹(L)
- 【科学技術科】織田貴文、渡辺啓夢(A) 岡本一希、富田悠登(B) 伊藤彰崇、近藤祐太(C) 河合優輝、堀田想一郎(D) 富田亮(A)
- 【情報科学科】近藤由梨、富田亮(A)

やあ！お元気ですか③

同窓会会員は現在、3万5千人を超えます。今回は高校時代に夢中になったものを今も追い続けるOBらを紹介しします。



ウェイトリフティングと共にー安島将門さん

高校時代で初めて体験したウェイトリフティング(重量挙げ)に情熱を注ぎ、社会人になっても練習に励んでいるのが団体制員で同窓会理事安島将門さん(昭和50年卒)。

「目標をクリアした時の達成感」が、安島さんをウェイトリフティングのとりこにしたらしい。社会人になっても、大会への参加や練習を続けているというから、ウェイトリフティングが生活の一部になっているといえます。時間があれば必ず部室に立ち寄り、若い高校生の部員に混じり、汗を流していきます。

安島さんを部室に訪ねた時も、日が暮れてからでした。過去に大きな病気を患ったことや腕の筋を痛めていたことを少しも感じさせないほどで、撮影の注文にもバールを軽々と持ち上げて、ポーズをとってくれましたから、「すごい」と言えます。

今は、マスターズ世界大会へ「ユニフォームに日の丸をつけて出場」し、優勝することを目標に、今日もトレーニングに励んでいます。

【写真は、今も“現役”の安島将門さんII部室で】

おめでとうー愛知県交安推進協から感謝状ー近藤春彦さん



感謝状を手にする近藤春彦さん

自営業で同窓会理事近藤春彦さん(昭和47年卒)は、一月十九日に開かれた愛知県交通安全全県民大会で県交通安全推進協議会(会長・大村秀章知事)から住みよい地域社会実現に功績があつたとして感謝状を贈られました。近藤さんは住んでいる学区内の子どもたちの安全を守るようと、自分の青パト(警察署から認められた民間自主防犯パトロール員の青色回転灯を装備した車)で学校がある時は仕事前の朝、夜間の二回、学区内を巡回し、目を光らせています。三年前から続けており、こうした街頭活動

が認められ、今回の感謝状となりました。また、近藤さんは六年前から真冬も含め岐阜県の御嶽山で滝業をしています。

阿波踊りー柏太輔さん

まず卒業生として、今までたくさんのご縁をいただきました。創立者後藤喬三郎先生、愛工大名電高校に感謝します。そして学園創立百周年おめでとうございました。

さて阿波踊り！踊る阿呆に見る阿呆 同じ阿呆ならおどりやな損損徳島の葵連名古屋支部太閤連に所属。(お囃子 太鼓担当で)青経塾の前座の出し物以来、継続しています。エキトピアまつり、広小路まつりなどにも参加し、毎年お盆には徳島に行きます。



(文・写真 柏太輔さん)

役員から一言

高校時代の思い出



副会長 学校法人名古屋電気学園が、創立百周年を

迎えられることを心よりお祝い申し上げます。

私は昭和三十年三月に入学試験を受けましたが、筆記試験は木造校舎の中で、面接は現在の中学のある中庭で行いました。入学した時、確か学校の正門は中学校の西にあった。一年の担任は新任の服部治一先生で生徒数は三百人だったと思います。夏になると現在の中学北側の実習工場前であったプールで校内水泳大会が、秋には学芸会があり、私のクラスで「レ・ミゼラブル」という劇をやりました。私は主人公のジャン・ヴァルジャンの役を演じた思い出があります。

二年の担任は英語の友松公徳先生でしたが、よくおこられた。クラブはウエイトリフティング部で、顧問は野牧一雄先生で、部員は十人ぐらいだったと思いま

す。練習場は現高校の体育館の所で、学生寮もありました。体育の時間になるとグラウンドの石拾いばかりでした。三年の担任は野牧先生で、クラブも一緒でしたのでよくお世話になりました。

冬になると合宿もあり、朝六時に登校し学校の周りを走らされ、遅いともう一周走らされました。ちなみに校長は後藤鉦二先生でした。百周年でいろいろと思いついた。百周年でいろいろと思いついた。百周年でいろいろと思いついた。百周年でいろいろと思いついた。



副会長 和三十年三月に入学後、水泳が好き

高校からのスポーツ

で水泳部に入部しました。しかし、コーチがいなくてなにもしていませんでしたが、十月ごろにフェンシング部にいた同じクラスの山口君（故人）に誘われて入

部。これが私の本格的に始めた運動部でした。三十二年、高校三年の時に名古屋でインターハイが開催され、団体が伊藤君、山口君、山下で優勝、個人戦は1位伊藤君、2位山口君、3位山下で、パーフェクトに近い優勝でした。十月の静岡国体に個人戦で出場し山口君1位、山下3位という成績でした。

試合等で就職が決まりました。部の一年先輩が立教大学に入っていたので、私も同大の入試を受けて、入学できました。在学中、三十六年七月にイタリヤ（トリノ）世界選手権、八月にハンガリー（ブタペスト）ユニバーシアード、十一月にドイツ（西ベルリン）国際エペ大会、三十七年八月にブラジル（ポルトアレグレ）ユニバーシアード等に出場できました。国体は、学生時代と社会人とで合わせて十年、選手でした。

学園創立百周年を迎え、同窓会の多くの皆様に式典等に出席する前に一度、現在の校舎を見に来ていただければ学校が良くなる

旅の思い

1

ったかを感じとれると思います。OB・OGの皆様はこの機会に（式典等に）ぜひ出席していただければ、学園への思いも変わるのではないかと思います。同年の卒業生の皆さんにお会い出来るのを楽しみにしています。

同窓会理事・道木峰男さん（昭42年卒）から寄せられた、「憧れの国『ニュージーランド』を訪ねて」を連載しますのでお楽しみください。

『憧れの国「ニュージーランド」を訪ねて』①

赤道を隔てて南太平洋に浮かぶ島国ニュージーランドは何度訪れても「おもてなしの心」で優しく迎えてくれる国でもあります。羊の数が人口の十倍もいると言われているニュージーランドは、日本から飛行機で約十一時間離れた遠くで近い国であります。

その国の北東に位置するオークランドは夏でもさわやかです。ブリトマート駅からアオテア・スクエアまでの大通りには、近代的なオフィスやショップ、オープンカフェ、

レストランが軒を連ねたクイーンストリートがあります。そこからバスで約十分ぐらい離れた所に若者や外国人たちが集まるパーネル通りという人気のスポットがあります。そしてオークランド周辺には死火山の一つであるマウン・ト・イーデンがあり、山頂は絶好のビューポイントになっています。都市の中心部から少し郊外に出ると、一般の家庭では、昼間でもクーラーを入れることはめつたにありません。

気温が三〇度を超えることは、まずありません。冬は少し寒い日がありますが、雪が降るようなことは十年に一度あるか否かです。降ったとしても五センチほど積もり、昼間には全部溶けてしまうということです。（続く）



【写真は、喫茶店でくつろぐ道木峰男さん】（文と写真とも、道木峰男さん）

同窓生ニューズー後輩たちは頑張っていますー②  
柴田投手の軌跡：難病を乗り越えて

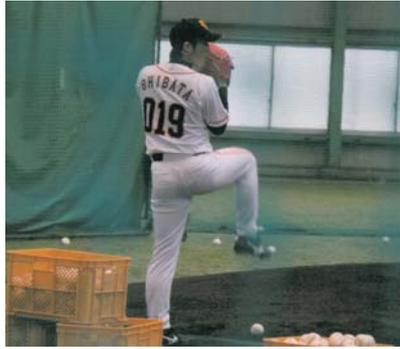


平成24年  
2月7日  
曇 気温8  
度 宮崎  
巨人軍キャ  
ンプ訪問ー

現在、巨人軍には編成部の山本幸二をはじめとし、グラウンドキーパーに荒井貴之、そして平成23年に育成枠入団した、柴田章吾の3人がお世話になっていま

す。前回に続き今回は、ベーチェット病と戦いながら不屈の精神で投手として入団した「柴田章吾」を紹介し

野球の素質はバツグンなものがあり縁あって名電高に入学し野球部合宿所に入寮しました。合宿生活では監督の奥様が別メニューで



投げ込みにも力が入る柴田章吾投手

きます。高校の最終学年「夏の大会」では、おにぎり二個で準決勝対亨栄戦の五回から九回まで投げ切って勝利。決勝戦の対中京戦でも7ー5で逃げ切り。そして、第

89回夏の選手権甲子園出場を果たした柴田章吾の活躍は、圧巻という他ありません。

その後、明大へ入学。一年の時の体重は六十三キ、二年の時は六十七キ、三年の時は七十キ、四年の時は七十三キとなり、その過程は食材等の改善で何でも食べるようになったというこ

とで「身体に自信が持てるようになりました」と言っています。しかし、現在も少なくな

ったとはいえ、薬を服用しているそうです。プロ野球の世界に足を踏み入れた以上は、一軍で活躍できること！を目標に頑張りますーと誓ってくれました。

※ベーチェット病とは腹痛に始まり、口内炎・かゆみの症状が出るそうです。  
【写真・文 奥村衛同窓会副会長 野球部OB会会長】

野球部の春の甲子園  
7年ぶり9回目の栄冠



参拝のほか、愛知県知事、名古屋市市長の各表敬訪問などをこなし徐々に、大会に向けて気持ちを一つにしていきました。

学校から



高校では野球部が選抜高校野球大会へ出場、吹奏楽部が金賞（全国優勝）をダブル受賞等と素晴らしい成果をあげ、意気盛んです。



選抜旗授与式・壮行会は、喬徳館で行われ、全校生徒が入場してき

を拍手で迎えました。紫紺の選抜旗が、主催者の毎日新聞社から佐藤忍校長、そして佐藤大将主将に手渡されました。倉野光生監督から選手紹介があり、佐藤主将が「甲子園では全力で戦います」と決意表明。応援団、チアリーダーング部が「頑張れ」とエールをおくりました。この後、近くの日泰寺にある学園慰霊碑に向き、後藤淳理事長から激励を受けました。また、知事、市長からは、「ぜひ優勝旗を持ち帰ってください」と熱い期待をかけられました。

【写真は、上が選抜旗を手に意気込みをみせる部員、下は学園慰霊碑前で後藤淳理事長から激励される部員】



平成二十三年度も残り少なくなってきました。学園創立百周年を目前に

控え、二十三年度の愛工大名電高校・愛工大附属中学校を振り返ってみてみたいと思います。本年度は、高校において科学技術科・情報科学科の

創立百周年を迎え生徒の活躍光るー佐藤忍校長

人気の回復と普通科志望者の根強い人気に支えられ、推薦・一般試験あわせて四千名を超える志願者を、また、中学校においても一〇五名の定員に対して六倍を超える志願者を集め、入学試験を実施することができました。

校長室の窓から

基礎・基本を大切にした授業や修学旅行をはじめとする様々な学校行事を展開しながら、多くの生徒諸君が部活動に参加し、例年のようにインターハイ等の全国大会にも、

駒を進めてくれました。ロボットの世界大会ロボカップへ中学・高校それぞれのチーム・個人が出場したのを皮切りに、卓球部の高校生ペアが大学の全日本チャンピオンを破り全日本2位となったり、フェンシング部では中学三年生がジュニアオリンピック大会で優勝し日本代表になったり、数々の好成績をあげてくれました。なかでもブラスバン

ド部は座奏とマーチングの両部門で初めて金賞をW受賞し、さらに、硬式野球部は七年ぶりに春の甲子園大会へ出場を決めました。三月の甲子園では全国制覇を目指し活躍してくれるものと期待しています。

進学実績については、昨年度はやや不満の残る結果でしたが、本年度は進学指導に当たるスタッフの充実と受験勉強に取り組む生徒の姿勢から多分昨年度を上回る成績を収めてくれるものと確信しています。さて、平成二十三年度に

においてはこのように学習に部活動に生徒諸君が大いに頑張り、成果をあげてくれましたが、平成二十四年度にはこのような生徒諸君の頑張りに応えるかのように学園創立百周年を迎えることになり。同窓会やPTAなどの皆様方の協力によって進められてきた学園百周年記念館（仮称）の建設も順調に進み、学園の新たな飛躍に向けて、よりよ

い学習環境づくりが進んでいます。『誠実・勤勉』の校訓のもと生徒たちが胸を張り、堂々と毎日の学習・実習・部活動に取り組むことができるのではないかと考えています。

本校は今後も生徒を社会人として育てるための『生徒指導』に力を入れ、教科指導の効果をあげるために教師個々の力量の向上と生徒の自律する力を鍛錬していきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻いただきまますようお願いいたします。

(写真・文 佐藤忍校長)



家庭科研究部

今回は、自転車競技部と家庭科研究部です。

家庭科研究部です。家庭科と聞くと未だに良妻賢母？というイメージをもたれていませんか？実際は家庭と社会を繋ぐ一般教養的な内容がぎっしりです。

例えば「環境・経済・人の発達・食と栄養・ライフサイクル」。授業が二単位しかなく、十分な実習ができないため、部活動でいろんな体験をしています。おもちや作り・調理実習・編み物・シュガークラフトな



文化部の中では吹奏楽部に次ぐ人気を集めている家庭科研究部

ど様々な「もの作り」をしてきました。

今年度は部員四十人（男子九人）です。昨年度は六十人を超えてしまい実習室に入りきらず悩みました。文化部の中では、吹奏楽部に次ぐ人気です。活動日は、月・金曜日。授業後六時ぐらいまでかかります。準備から片づけ、実習費の予算や支払い、すべて生徒が協力して回しています。

一緒に作り、コミュニケーションを重ねるうちに仲間同士の関わりが深まります。三年生を送る会では、毎年後輩への心温まるエールを聞くことができ、胸がいっぱいになります。

(文・写真 顧問・内海那保子教諭)

自転車競技部

わが自転車競技部は、全国制覇を目標に、日々、名古屋市中村区にある名古屋競輪場と、瀬戸市、土岐市周辺道路での練習に汗を流しています。プロ競輪選手には、引退した選手を含めて延べ四十三人を数え、各方面で活躍していただいております。

